

2026 年度大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る
特に優れた業績による返還免除内定候補者の申請手続きについて
(修士内定)

大学院修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）進学時に、貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除を内定する制度です。
申請を希望する場合は、本紙を熟読のうえ、申請してください。
ただし、大学の推薦枠に限りがあるため、申請者全員が内定する訳ではありません。

1. 申請対象者

2026 年度に修士課程等への進学を希望し、第一種奨学金の貸与を受ける予定であって、以下のいずれも満たす者。（外国籍の人は「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」等のみが対象。）

①大学学部等において修学支援新制度を利用していること又は住民税非課税世帯であること。

※修学支援新制度の利用者とは、本内定制度『申請時点』で支援区分が第Ⅰ区分～第Ⅲ区分、第Ⅳ区分又は多子世帯（支援区分は問わない）のいずれかの者。

他の奨学金の受給者等で修学支援新制度の授業料減免のみを利用している者や、学業成績で停止中の者は対象となる。支援区分外の者や資産超過により停止となっている者は対象外。

※給付奨学生でない場合（過去に修学支援新制度を利用していたり、既に満期を迎えている場合や廃止等で支援を受けていない場合を含む）は、学生等本人及び生計維持者（父母がいる場合は原則として父母2名）の直近の所得証明書等により、全員の市区町村民税所得割額が0円であることを確認できること。加えて、本人及び生計維持者の資産の合計額が5,000万円未満であること。

②特定分野（「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」）への進学を希望していること。

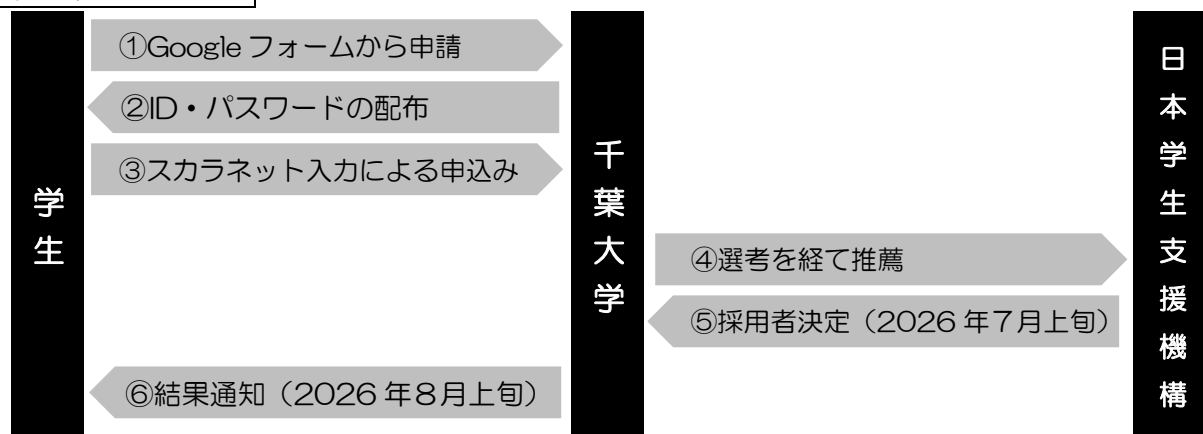
③将来、上記②に記載の特定分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を備えて活動することができると認められる者。

※上記①～③を満たし内定者となった場合でも、入学後6か月以内に第一種奨学生(授業料後払い制度を含む)として採用されなかったときは、内定の効力を失う。

2. 今年度の推薦枠

区 分	推 薦 枠
修士・博士前期課程	15
専門職学位課程	2

3. 申請の流れ



4. 申請方法

① 2026年1月28日（木）の16時まで（締切厳守）に、以下の Google フォームから申請してください。

申請資格により、書類の提出（アップロード）が必要な場合がありますので、事前に提出が必要な書類を準備してから回答を始めてください。

上記期限までに入力及び必要書類の提出（該当者のみ）が完了しなかった場合は受付できませんので、余裕を持って申請を完了してください。

◆2026 年度大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定申請フォーム

<https://forms.gle/YFdKzqGhoh1AmZHq9>

※千葉大学の学部生は千葉大学の Google アカウントから回答してください。

※他大学から千葉大学の大学院に進学予定の方は学生支援課まで事前にご連絡ください。

【入力内容】

自身の進学等に係る情報の他、大学院進学の目的と研究計画を 400 字以内で記入してください。その際、以下のいずれかへの進学を希望していることがわかるように記入してください。

- 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）
- 大学の強みや地域の強み等を生かした分野

【アップロードが必要となる書類等】

申請資格	提出（アップロード）書類
日本学生支援機構給付奨学生であって以下に該当する者 ・支援区分Ⅰ～Ⅳ、多子世帯 ※停止中であるが理由が自己都合又は学業成績の者含む。	アップロードが必要な書類はありません。 ※千葉大学「以外」の学部 zu 所属する（もしくは卒業した）学生で、『停止中』の場合は、申請前にその事情について学生支援課にご相談ください。 <u>自己都合</u> もしくは <u>学業成績</u> による停止であることを確認します。

<p>(該当者のみ) 日本学生支援機構給付奨学生 <u>ではないが本人及び生計維持者全員</u> (※) の住民税所得割額が0円である者</p> <p>(※) 原則父母2名となります。 生計維持者を「父母2名以外」とする場合の詳細については以下を確認してください。 生計維持者について JASSO</p>	<p>以下の2点のアップロードが必要です。</p> <p>①自治体（市区町村等）が発行する<u>本人及び生計維持者全員の非課税証明書等</u>（発行可能な最新の年度のもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全項目証明（所得金額、課税額、控除が記載された記載省略のない証明書）を市役所等に申請して入手してください。原則として 2025 年1月1日時点で住民票登録のあった市町村で発行されます。 ・所得がない場合であっても、非課税証明書等の名称で発行されますので、必ず提出してください。期日までに提出がない場合は申請を受け付けません。 <u>※源泉徴収票や納税通知書では受付できません。</u> <p>②資産の申告書 自身で記入し、上記非課税証明書等と併せて EXCEL ファイルのままアップロードしてください。</p> <p>※よくある不備 父母がいるが、大学院は自分で生活費を支払うから自身のみの独立生計とし、父母等の収入は提出しなかった。 →<u>父母の根拠書類が必要です。</u>期日までに提出が無かった場合は申請を受け付けません。</p>
<p>(該当者のみ) 申請日時点で大学院入試の結果が出ていない者</p>	<p>○学部卒業時の GPA が分かる書類 ※千葉大学の学部にも所属する（もしくは卒業した）学生は提出不要です。</p>

- ②上記 Google フォームからの申請のあった方のうち、不備等が無かった方については入力いただいた翌営業日に「スカラネット」から入力するための ID、パスワードをお送りいたしますので、2026年1月30日（金）まで（締切厳守）に入力してください。
- ※Google フォームに入力いただいた翌営業日までに学生支援課より ID、パスワードが送付されていない場合は、学生支援課までメールでご確認ください。

6. 結果発表について

選考の結果にかかわらず、令和8年8月上旬以降に大学院の千葉大学 Gmail アドレス（[大学院の学生証番号@student.gs.chiba-u.jp](#)）に通知します。

7. お問い合わせ先

記録を残すため、必ずメールでお問い合わせください。電話、窓口では回答いたしません。また、申請期限当日のお問い合わせは対応できませんので、余裕を持ってご対応ください。

学務部学生支援課生活支援係 gakushi-shougaku@chiba-u.jp

8. 注意事項

- ◆本制度は、「修士課程等において貸与を受けた第一種奨学金」の全額又は半額の返還免除を内定する制度です。本制度に申請しただけでは第一種奨学金は受けられません。第一種奨学金の申込みは、内定候補者の申請とは別に行う必要があります。大学院の予約採用あるいは修士課程等進学後の春の一次採用（10月入学者の場合は秋採用）にて申し込んでください。
なお、大学院入学後、6か月以内に第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）に採用されなかった場合には内定の効力を失います。
- ◆内定者として決定された場合も、返還免除が確定するわけではありません。
貸与終了時には「特に優れた業績による返還免除」の申請が改めて必要です。所定の期日までに申請が無かった場合は、内定の効力を失います。
- ◆内定者となった場合は、年に1回中間評価があり、内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します。（学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります。）
- ◆内定は、大学院入学後に採用された最初の第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）にのみ適用されます。
例えば、業績免除内定制度をもって進学し、1年次の春に「授業料後払い」制度に採用され、2年次の進級時に後払い制度を辞退して現行第一種奨学金に採用されると、後から採用となった現行第一種奨学金には内定が適用されません。逆に現行第一種奨学金を辞退し、授業料後払い制度へ変更した場合も同様です。
なお、特に優れた業績による返還免除の推薦は現行同様、貸与を終了した年度が基準となり、辞退した年に推薦が必要となります。
- ◆内定者とならなかった場合でも、貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。
また、今回申請資格がなかった方や、申請に間に合わなかった方も貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。
- ◆アップロード完了後は受信確認メールが送付されますので、そちらが届くことを確認してください。もし数時間待っても受信確認メールが送られなかった場合は、再度アップロード画面に進み、「提出済なので再アップロードは出来ない」旨の画面を確認し、スクリーンショットを保存した上で学生支援課にご相談ください。
※申請期限直前のご相談には対応できませんので、余裕を持ってアップロードしてください。